

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 スポーツ科学センター備品整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 競技スポーツ課 アスリート発掘・育成係

電話番号：058-297-7003

E-mail：c11173@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,769 千円 (前年度予算額：10,220 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	10,220	0	0	0	0	0	0	0	10,220
要求額	7,769	0	0	0	0	0	0	0	7,769
決定額	7,769	1,369	0	0	0	0	0	0	6,427

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県スポーツ科学センター (GSSC) 及び分館である御嶽濁河高地トレーニングセンターの機能向上・維持を図るため、測定用・トレーニング用機器の整備を行う。

(2) 事業内容

以下の備品を購入する。

○心拍テレメーター用受信機	1 台
○簡易血中乳酸測定器	10 台
○自動尿分析装置	1 台
○ゲーム分析ソフトウェアライセンス	1 式
○リアルタイム心拍モニターライセンス	1 式
○動作解析用ソフトウェア	1 式
○リアルタイム心拍モニター	1 式
○デジタルビデオカメラ	2 台
○ (DX) リアルタイム心拍モニター	1 式

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10 (県有施設の整備であるため)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	4,095	心拍テレメーター用受信機 簡易血中乳酸測定器 自動尿分析装置 デジタルビデオカメラ (DX)リアルタイム心拍モニター
使用料	3,674	ゲーム分析ソフトウェアライセンス リアルタイム心拍モニターライセンス 動作解析用ソフトウェア
合計	7,769	

決定額の考え方

リアルタイム心拍モニターの財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(3) 後年度の財政負担

岐阜県スポーツ科学センターの機能向上と維持を図るため、整備計画を基本とし、測定対象となるトップアスリート等のニーズを踏まえながら計画的に整備していく。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 岐阜県スポーツ科学センターの機能向上・維持のため、科学トレーニング計測にかかる測定備品について計画整備を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R 年度 実績	R 年度 目標	R 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

機器の状態により整備機器の変動が発生することから、目標設定は困難。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	映像解析用パソコンやタブレットをはじめ、測定機器の整備を行った。 これらの機器の導入により、ジュニア層やトップアスリーのスキルチェックの向上が図られ、県のスポーツ科学トレーニング体制の拡充に寄与した。 また、東京 2020 オリンピックに県ゆかりの選手 30 名輩出の目標を達成し、パラリンピックにも目標の 10 名には届かなかったが 9 名の輩出できたことに関してスポーツ科学センターの功績は大きい。
令和 3 年度	令和 5 年度当初予算にて追加 <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和 4 年度	令和 6 年度当初予算にて追加 <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>岐阜県スポーツ科学センターにおける運動能力測定体制を、トップレベルで維持するため、最新機器の整備・更新は必要。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>最新機器の整備・更新により、最先端の運動能力測定機能の拡充が図られた。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>備品購入は、劣化が進み運営に支障が出ている物等必要最小限とし、効率的に実施している。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 現行機器は経年劣化により故障が多く、また機能の老朽化・陳腐化により、求められる機能を満たしていないため、整備・更新が必要となる。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 次年度以降も、現在の規格に適合せず業務に支障がでるなど、現在の使用に堪えない物件に絞り、機器整備・更新を要求する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	